

『夏の夜の夢』

世界の名作物語をもとにした、“こどもおとな”楽しめる舞台作品をお届けするシリーズ。10回目を迎える今年、東京にある座・高円寺による『夏の夜の夢』を上演します。

オペラや映画にもなっているシェイクスピアの人気作!

『夏の夜の夢』は『十二夜』と同じくシェイクスピア屈指の喜劇作品。世界中でいまだに上演されている人気の作品で、メンデルスゾーンが『夏の夜の夢』を主題にした序曲と劇付随音楽(特に「結婚行進曲」は有名!)を作曲したり、二十世紀最大のオペラ作曲家として名高いブリテンがオペラを書いたり、バレエや映画になったりと作品の持つ影響力はすさまじく、多くの人に愛され続けています。

妖精のいたずらで、あべこべの恋仲に!?

『夏の夜の夢』で描かれるのは、『十二夜』と同じく男女の恋愛模様。親に結婚を認められず、かけおちした男女、そしてその二人を追う別の男女。彼ら4人が入り込んだ森の中では、妖精の王さまと女王さまがケンカをしており、王さまは女王さまに惚れ薬を使ってこらしめようとしています。そこに現れるのが、この作品のキーマンである妖精パック。このパックが、惚れ薬を間違えて使い、男女4人は好きな人が好きじゃなくなり、好きじゃない人が好きになったりとあべこべに。女王さまもロバ頭の職人に恋してしまうなど、ラブコメディ的な展開に「シェイクスピアってこんな作品も書いていたの!？」ときっと衝撃を受けるはず!



演出にシライケイタさん、上演台本に岩崎う大さん

今作で演出を手掛けるのは、座・高円寺で芸術監督を務めるシライケイタさん。シライケイタさんは演出家・脚本家として、自身の劇団温泉ドラゴンをはじめ、劇団内外で数々の作品を手掛けており、当劇場の「新 かぼちゃといもがら物語」でも第4弾の『幻視〜神の住む町』(2020年上演、出演:東風万智子、駒木根隆介ら)を書いていただきました。上演台本は、キングオブコント王者でお笑いコンビ「かもめんたる」の岩崎う大さん。学生の頃から演劇に携わり、「劇団かもめんたる」として数々の演劇作品を上演。岸田國士戯曲賞候補に2年連続で選出されるなど、演劇界でも注目を集めています。



シライケイタ



岩崎う大



シライさん岩崎さんのお二人によって、400年以上前に書かれた昔の作品が、よりポップでコミカルな作品に。俳優たちが一人で複数の役、貴族・職人・妖精と巧みに演じ分けるのも見所のひとつ。また、一見シンプルな舞台美術は、シーンによって照明の効果と合わさって、想像力をかきたてるさまざまな空間に切り替わっていきます。そのほかにも、おとなもこどもも楽しめる“しかけ”が盛りだくさん。ご来場お待ちしております!



あらすじ

主のシーシェースの結婚式が間近にせまるアテネのお屋敷。そこに家来がやってきて、自分の娘ハーミアが親の希望とは違う男と結婚するので、罰してほしいとたのみこむ。シーシェースはハーミアに、自分の気持ちを通すか、あきらめるかを選ばせようとするのですが……。さて、ハーミアは?



鑑賞サポートのご案内

『夏の夜の夢』では、ろう者(きこえない・きこえづらい人全般)のお客様に向けた鑑賞サポートのサービスを行います。

- 上演台本の事前貸出(要申込み)
- 字幕タブレットの貸出(要予約)
- 妖精パック役の西脇将伍さんは日本手話を使って演じます。なお、パックの台詞ははじめその他の俳優は日本語でセリフを話します。

『夏の夜の夢』撮影:梁丞佑

公演情報

9/13(土) 『夏の夜の夢』 13:30開場 14:00開演

会場: 演劇ホール
原作: W.シェイクスピア『夏の夜の夢』(小田島雄志訳による)
演出・作詞: シライケイタ
上演台本: 岩崎う大(かもめんたる)
出演: 山崎 薫、木ノ下藤吉、武田知久、滝本 圭、西脇将伍、坂本夏帆、ぎたろー